

ユニセフ視聴覚ライブラリー

日本ユニセフ協会では、各地の協力機関を通じて、DVDやパネルなどの視聴覚教材を貸し出しています。どうぞお気軽にご利用ください。



● ユニセフ視聴覚ライブラリー 利用方法

- ①借りたいDVDやパネルを選び、最寄りの貸出機関(→P.29-30)に電話をかける。
- ②利用目的と期間(到着希望日と終了後の発送日)を伝える。
- ③利用者の氏名・住所(送付先)・電話番号を伝える。

※受付日や時間は、貸出機関ごとに異なりますので、P.29-30の表でご確認ください。

※往復の費用は利用者の負担となります。

※返却日は必ずお守りください。また、返却先(借りた貸出機関)をP.29-30の表で確認のうえ、お間違いないようにご返却ください。

※DVD等のダビングを希望される方には、事前に目的外の使用や編集をしない旨、誓約書のご提出をお願いしております。誓約書の用紙は各貸出機関からお取り寄せください。(ダビングできないものもありますので、ご注意ください。)

※借りたものの破損等には十分ご注意ください。万が一、破損した場合には、速やかに貸出機関にご連絡ください。原則として補修費用のご負担をお願いいたします。

DVD・ビデオ

※各タイトルで使用されている数値や内容はその制作年当時のものです。

※そのタイトルの内容を理解するのに適当な校種を示しています。幼：幼児以上 小：小学生以上 中：中学生以上 高：高校生以上

※YouTubeでも映像を見る能够のタイトルにはYouTubeのマークがついています。

日本ユニセフ協会のYouTube公式チャンネルから、タイトルで検索してください。

はじめてユニセフを学習するときに

	ユニセフと地球のともだち 14分	 小
保健、水、栄養、教育、保護、緊急支援の6つを柱としたユニセフの活動を、現地の子どもたちの声や映像で紹介します。また、ユニセフの歴史や、日本へのユニセフの支援についても触れています。ユニセフと世界の子どもたちの現状について基礎から学ぶことができます。項目ごとに分けて見ることも可能です。(2016年改訂・字幕版・英語版あり)		
	「シュヌン・シュヌン」 (聞いてください) — 子どもたちからのメッセージ — 16分	 小 中学年
「シュヌン」とはベンガル語で「聞いてください」という意味。南アジアのスラム街で「シュヌン・シュヌン!」と予防接種を呼びかけ、ポリオ撲滅のために活動する子どもたちなど、さまざまな境遇の子どもたちが登場します。栄養不良、難民、教育などのテーマに加え、子どもの参画や公平性の概念などのテーマも扱っています。(2014年制作)		

ユニセフの歴史や活動についてテーマごとに学習をするときに

	ユニセフの歴史 6分	 小 高学年
ユニセフは、第二次世界大戦後、戦争で被害を受けた子どもへの支援のために創設されました。いまでは開発途上国で、保健、水と衛生、教育など、子どもたちの命と健やかな成長を守る活動を行っています。その活動と歴史をわかりやすく紹介します。(2011年制作)		
	子どもの命と健康を守るために 6分	 小 高学年

守ることができるはずの幼い命が今も失われています。世界中のすべての子どもたちが、十分なケアを受け、健やかに成長できるように、ユニセフが各地で取り組んでいるさまざまな活動を紹介します。(2011年制作)



すべての子どもに教育を 6分

YouTube 小 高学年

学校に通いたいのに通えない。貧しさや学校がないなどさまざまな理由で学校に通えない子どもたち。すべての子どもが教育を受けられるように、ユニセフが実施している活動を、子どもたちの声や笑顔とともに紹介します。(2011年制作)



HIV/エイズとのたたかい 6分

YouTube 小 高学年

HIV/エイズによって厳しい状況におかれる多くの子どもたち。出生時に感染してしまった子ども、親をエイズで亡くした子ども。HIV /エイズから子どもたちを守ることも、ユニセフの活動のひとつです。HIV /エイズの予防、治療、教育、ケアに取り組むユニセフの活動を紹介します。(2011年制作)



子どもの保護と緊急支援 7分

YouTube 小 高学年

多くの子どもたちが暴力や搾取、差別、虐待などの危険にさらされています。過酷な労働をさせられる子ども。紛争に巻き込まれる子ども。出生登録がないために「公式に存在」せず誕生日も知らない子ども。こうした現実やユニセフの緊急支援活動を紹介します。(2011年制作)



この世界に生きる子どもたち 15分

YouTube 小 高学年

女子教育、子どもの兵士、HIV/エイズなど、世界のさまざまな場所で厳しい現実に直面している子どもたちと、そうした子どもたちを守るユニセフの取り組みを紹介します。(2006年制作)



子どもたちこそ明日の世界 10分

小 高学年

1990年に開催された「子どものための世界サミット」。当時は1日4万人も失われていた子どもの命をどう守るか、その方策が話し合われ、また、それを実行することが約束されました。将来の世界の主役である子どもたちに、また、平和に向けて制作された作品です。(1990年制作)

幼い子どもから学べる



なぜユニセフ募金なの? 10分

YouTube 幼

不自由な生活をしている私たち。でももし、電気、水道、病院、食べ物がなくなってしまったら?こうした基本的なニーズが満たされない厳しい生活があることを想像し、ユニセフへの協力を呼びかけるアニメーション作品です。(2010年画像修復版)



タムタムとビルの街 12分

YouTube 幼

灰色の空の下で暮らすビルの街の友だちには青空を、乾いた砂漠に住む友だちには雨をプレゼント。世界の子どもたちが互いを学び合い、平等な立場で助け合うことをテーマにしたアニメーション作品です。(1984年制作)

個別の国の状況について知る



ベトナム・ディエンビエンの子どもたち 15分

YouTube 小

急速な経済発展のイメージと裏腹に、特に山間部で暮らす少数民族の人びとはその流れから取り残され、厳しい暮らしを送っています。豊かさとは何か、公平性とは何かを、少数民族の女の子の生活を通して考えます。(2013年制作)



いのちの水 西アフリカ・マリからの報告 15分

YouTube 小 高学年

安全な水やトイレがないことが、多くの子どもたちの健康を脅かしています。世界の水や衛生の現状とともに、マリ共和国で村に井戸がつくられ、それによって変わっていく現地の人びとの生活を伝えています。開発途上国におけるユニセフの活動もよくわかる作品です。(2008年制作)



カンボジアの子どもと未来 ー教育と識字プロジェクトー 15分

小 高学年

1998年に戦争が終ったカンボジアでは、特に農村部で、保健や安全な水が行き届かず、栄養不良が広がり、子どもたちの健やかな成長が脅かされています。こうした暮らしを改善してゆくためにユニセフが実施している教育や識字教育プロジェクトを紹介します。(2008年制作)



すべての人にきれいな水を ーネパールからの報告ー 17分

YouTube 小 高学年

ヒマラヤ山脈で知られる南アジアの国、ネパール。安全な飲料水の確保に苦労している人が多く、時間も労力もかかる水汲みは主に女性と子どもたちの仕事です。カルカ村、ハンディコーラ村、パルサ村を例に各地での給水と衛生の取り組みを紹介します。(1993年制作)

戦争・搾取・虐待…特に厳しい状況下の子どもたちを知る



子どもの権利を買わないで 一パンとミーチャのものがたりー 15分

YouTube 小 高学年

山村で暮らしていた女の子パンは、ある日村にやって来た男に連れられ、都会で働くことになります。そこでパンを待ち受けていたのは…。子どもの権利のもっとも深刻な侵害のひとつ「子どもの商業的搾取」の問題をわかりやすく紹介するアニメーション作品です。(2001年制作)



子どもと武力紛争 一世界から子ども兵士をなくそうー 12分

YouTube 中

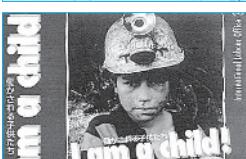
現在も世界各地で武力紛争が続いている。子どもたちが兵士として使われ、身体と心に深い傷を負っています。こうした子どもたちの状況を伝え、子どもを紛争に巻き込まないためにできることを呼びかけています。(1999年制作)



I DREAM OF PEACE(英語) 6分

ビデオ 中

戦争によって深い傷を負った子どもの心を癒すために、その体験や素直な感情を絵や詩に表現する心理療法があります。内戦の犠牲になった旧ユーゴスラビアの子どもたちが描いた絵を通して、子どもたちの抱える苦しみと夢を伝えます。(1994年制作)



I am a child 8分

ビデオ 中

多くの子どもが児童労働に従事しています。中には、心身の発達に害を与える危険な労働を強いられている子どもも多く存在します。ケニア、タイ、ブラジルで働く子どもたちのようすを伝えるこの作品は、児童労働の撲滅に向けて強いメッセージを発信しています。※ダビング不可(ILO制作、1996年)



子どもの権利 16分

YouTube 中

1990年の「子どもの権利条約」発効後も、子どもの権利が無視されている状況が続いている。児童労働や虐待で苦しむ子どもや戦時下の子どもの状況などを伝えると同時に、「子どもの権利」の実現に向けて力を尽くすよう訴える作品です。(1992年制作)

ユニセフが現地での啓発のために開発したアニメーション作品



ミーナ にわとりなんわ 13分

YouTube 幼

南アジア地域では、社会慣習により女性が不利な立場に置かれ、女子は教育の機会を奪われがちです。この地域で女子教育を広めるために制作された啓発ビデオです。お父さんの反対で学校に行けないミーナ。ペットのオウムを学校に行かせ、オウムから数の数え方を教えてもらいます。それをきっかけにして…(1996年制作)



ミーナ はんぶんこしよう 13分

YouTube 幼

女性や女子がより重い労働負担を強いられることが多い南アジア地域。この地域で女性の状況改善を啓発するために制作された啓発ビデオです。弟と同じように学校に通えるようになったミーナ。ところが食事の量は弟よりも多く、家の仕事は弟よりもずっと大変です。ミーナと弟が家の仕事を交換してみたら…(1996年制作)



サラ すてきなおくりもの 17分

小

東南アフリカ地域で、女子への支援プログラムの一環で制作された啓発ビデオです。中学校に通うことを楽しみにしていたサラ、お金がないことを理由にもう学校に通わせられないと言われます。ある日、借りた本を読んでサラは素敵なことを思いつきます。(1997年制作)

日本の子どもたちが登場する作品



世界の12歳 15分

YouTube 小 高学年

日本の14人の12歳の子どもたちが、バングラデシュ、ガーナ、クロアチア、オーストラリアの子どもたちを訪ねます。異文化に触れ、友情を深め、相手の国を理解してゆくドキュメンタリー。児童婚、労働、紛争、多民族問題といった世界の課題について自分たちができるを考えます。※ダビング不可(1998年制作)



だれが守るの地球 一地球サミット／アジェンダ21ー 13分

YouTube ビデオ 小 高学年

1992年にリオデジアネイロで開かれた「国連環境会議」。子どもの代表スズキさんとサイードさんの発言を紹介します。また、ブラジル・ファベイラの生活改善、滋賀県栗東市立大宝小学校の環境授業、ケニアの植林の事例を通じて、子どもの参加を呼びかけています。(1993年制作)

世界子供白書シリーズ

世界子供白書2006 ー存在しない子どもたちー 16分

中

出生登録がないことで、その存在が公に認知されず、基礎的な保健や医療、教育などのサービスを受けることができない子どもたちがいます。なぜ子どもたちは社会から「見えない存在」になってしまうのか、その原因と課題、解決策を探っています。(2006年制作)

世界子供白書2007 ー女性と子どもー 16分

ビデオ 高

教育や仕事の機会など、ジェンダーによる差別は世界中で広く見られます。差別をなくし、女性の地位が向上することによってどのような変化がもたらされるでしょうか?「子どもの権利」実現のカギをにぎる女性のエンパワーメントに焦点を当てて紹介しています。(2007年制作)

世界子供白書2008 ー子どもの生存ー 12分

ビデオ 高

子どもの保健分野では大きな前進が見られる一方、いまだ多くの命が失われています。子どもの生存に関し、前進を加速させるためには、保健システムの強化が重要です。コミュニティを基盤とする保健ケアの取り組みを紹介しています。(2009年制作)

世界子供白書2009 ー妊娠婦と新生児の保健ー 17分

YouTube 高

多くの女性が妊娠や出産に関連して命を失っていますが、その危険は、先進国と開発途上国との間で数百倍以上の格差が存在しています。妊娠婦の死亡につながる要因や母親と新生児を守るためにコミュニティでの取り組みを紹介しています。(2010年制作)

「ユニセフ活動の手引き」付属DVD

2018年度 ユニセフDVD学習教材 (7タイトル収録)

YouTube

①片足を失った少女「将来は体操のコーチに」 ②長谷部誠 エチオピア「ワクチンの旅」 ③13歳アイシャの一日～水を得るために～ ④心の鼓動～シリアの子どもたちから世界へ歌のメッセージ～ ⑤100円の旅 ⑥世界に広めよう「持続可能な開発目標(SDGs)」I ⑦ユニセフと地球のともだち

2019年度 ユニセフDVD学習教材 (10タイトル収録)

YouTube

①あなたにとって平和とは?～シリア 難民キャンプの子どもたちの声～ ②教育をあきらめたくない～ロヒンギャ難民のラシェッド君～ ③子ども兵士から解放されたジョセフ君 ④IMAGINE(イマジン)ユニセフバージョン ⑤思いがけないインタビュー ⑥100円の旅 ⑦世界に広めよう「持続可能な開発目標(SDGs)」II ⑧ユニセフと地球のともだち (長谷部誠 日本ユニセフ協会大使の活動)⑨日本の子どもたちへのメッセージ ⑩【ユニセフ公共CM】難民キャンプ編)

パネル

ユニセフってなに?

保健・水と衛生・栄養・教育・緊急支援・女性への支援などテーマ別に、ユニセフの主な活動内容をわかりやすくまとめて紹介しています。(2018年制作)



上記の2タイトルは、ポスターSET(四つ折りで封筒に入ったもの)の提供が可能です。(→P.19「ユニセフ資料の紹介」)

子どもの参加が未来をつくる

子どもは年齢に応じて、社会とのつながりを広げていきます。社会への参加を通じ、様々な体験をして、視野を広げ、自分がおとなに成長したときに果たす役割について学んでいきます。(2003年制作)

わたしも学校へ行きたい

世界には家事労働などで通学できない女の子が男の子よりも多くいます。その状況への理解と、いまだ解決を必要とする諸問題に取り組む必要性を、子どもたちの視線から訴えています。(2004年制作)

子どもたちにやさしい地球を残そう

現在、子どもたちが置かれている厳しい状況を紹介するとともに、子どもたちにやさしい地球を残すために、ユニセフと一緒に考え、行動することを呼びかけています。(2013年制作)



ひとりひとりが大きな力

子どもの権利を脅かしている世界のさまざまな問題。よりよい未来のためにひとりひとりが力を発揮して問題に取り組もうと訴えます。(2002年制作)

守られているの?子どもの権利

「子どもの権利条約」でうたわれている権利と、基本的な権利を守られていない子どもの状況とユニセフの活動を紹介します。(2000年制作)